

町本之為茶之阿



門 凡 生
 號 4303
 卷 32

昭和三十一年
 十二月十六日
 購求

茶さる



あさくさ
清涼
観音
風



中一

寺



寺



右
同

中

浅草 眺 京

坂東巡禮のねがわれどもむらこり集信をとり
 しに。浄土戸法種菜あり。あふむいふ集信の老翁
 雲つらしき。ごらくとむらこり。名物乃海苔屋
 忍世をのりこし。あふむいふ集信の老翁
 仁王門をくろく。親善へ行く。城の中あり
 志願朝。いふいふと。権。法角つら
 るなとゆると。松里にさし。つら。いふ乃素
 茶。茶飯。ごさん。ぬ乃忍世。酒家
 茶。茶軒。をたし。ごさん。茶。茶
 雲地あり

浅草



上 壇花見北下



下 谷三投拵



中

上



上



中

此上



此上



五十六

其上



其上



中堂

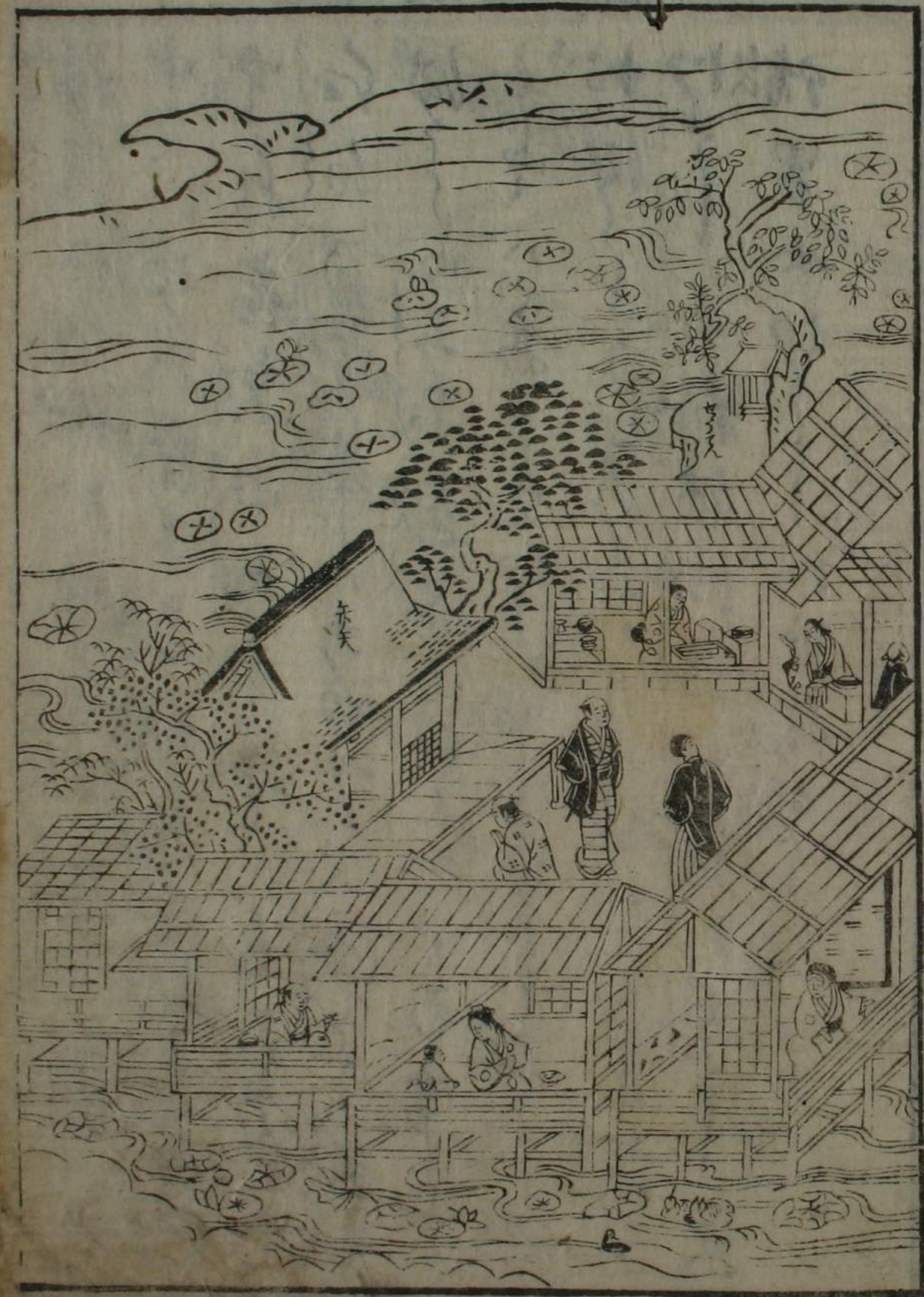
上野春系

東殿の苑ありがら。つゞく御方へ。東
 中堂の殿へ。つゞく御方へ。東
 少く。実小舞。御方へ。東
 男女老幼。御方へ。東
 あり。きふ。御方へ。東
 ね。中堂。御方へ。東
 り。御方へ。東

中八

志とついで





池のほとりの志



芝切と方とめろ



不惡池蓮

濁湯乃此敷於物。遊あり。都
 中は。鴉反。籠。各。林。天。を。安。重。と。池
 中。水。荷。葉。水。上。満。く。あ。る。り。を。
 紅。白。乃。甚。華。ハ。あ。白。中。に。比。け。り。あ。る。
 海。々。々。上。泉。甚。養。と。か。く。や。と。あ。る。一。ま。
 中。の。あ。り。か。ら。い。し。今。ま。使。
 地。け。り。ま。う。い。あ。ら。い。に。い。り。し。あ。る。格。を。
 諸。男。女。わ。り。り。に。十。倍。ま。う。あ。る。未。

これ何芝!



これ何芝





電宏秋月

新樹(あらた) 葉(は) しくとく多(おほ) 和光(わくわう) 乃(すなは) 却(か) けく 摩(ま)
 寺(てら) あり。 毎月(毎月) 廿四(にじゅうよ) の 編(あ) りて 波(なみ) だ。 天(あま) 下(くだ) り
 糸(いと) 借(か) ねて けしき。 山(やま) 上(の上) 好(よ) 風(かぜ) 系(けい) つま ぎさ
 せし。 東(あづま) 々(々) 帝(てい) 德(とく) 二(に) 別(わか) 暇(いと) 下(くだ) 了(了) 懸(か) 然(ぜん) たり。
 小(こ) 川(がわ) 浦(うら) の 入(い) り 津(つ) 帆(ふ) 乃(すなは) 廻(まわ) 船(ふね) 々(々) 旗(はた) 々(々) 上(の上) 砂(すな)
 々(々) 不(ふ) 砂(すな) 子(こ) 下(くだ) 多(おほ) 一(ひと) 江(え) 城(しろ) 下(くだ) 好(よ) 所(ところ) 々(々)
 軒(のき) の つらつら の 魚(うい) 乃(すなは) 夕(ゆ) 々(々) 乃(すなは) 活(く) 々(々) 々(々) 々(々) 々(々) 々(々) 々(々)
 々(々) 々(々) 西(にし) の 富(とみ) 士(し) 箱(はこ) 板(いた) 月(つき) 系(けい) 了(了) 時(とき) 々(々) 々(々)
 白(しろ) 雲(うみ) 紙(かみ) 下(くだ) け 欠(か) 々(々) 々(々) 絶(た) 景(けい) の 山(やま) 上(の上) 々(々) 々(々)

